

ヤングケアラーの定義

- 日本では正式な定義はまだない。
- 日本ケアラー連盟ヤングケアラープロジェクト
「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子ども」
英:18歳以上をヤング・アダルト・ケアラーと呼ぶ。
豪:25歳までがヤングケアラー。
→ケアを担う子ども・若者たち

1

たとえば・・・



介護が必要なおばあちゃんがいる。

認知症のおじいちゃんがいて、常に見守りや話し相手が必要。



2



お母さんに精神疾患、精神障がいがある。

お父さんがアルコール依存である。



親が慢性的な病気だ。



障がいのあるきょうだいがいる

親が日本語が苦手だ。



3

子どもが...



家事(料理、洗濯、掃除など)をする。

年下のきょうだいの世話をする。



介護、見守り等をする。



感情的なサポートをする。

4



通訳をする。
(日本語通訳、手話通訳)

それに加えて
アルバイトをして家計を助ける。

※ケアとは広い範囲を意味している。
身体的介護だけがケアではない。

ヤングケアラーの現状

□ヤングケアラーの存在割合

厚労省調査 中学生 約6% 高校生 約4%

- ケアの相手 父母、祖父母、きょうだいなど
- ケアの内容 家事、感情的サポート、外出の付添、見守り等
- ケアの頻度 ほぼ毎日が半数
- ケアの時間 短時間のケースが多いが、長時間に及ぶケースも一定数いる

ヤングケアラーが抱える問題・困りごと

学校生活への影響

遅刻、欠席、宿題忘れ、成績不振
「学校が楽しくない」



先生との関係

衛生面・栄養面

孤立・孤独

いじめとの関連

就職面

健康面への影響

精神的健康、身体的健康に影響が出る場合もある。



友人関係への影響

「友人関係が上手くいっていない」
話が合わない、部活動でトラブルなど

□どの領域の、どの問題にも、当てはまるようで、当てはまらない気づいていても、踏み込みにくい状況

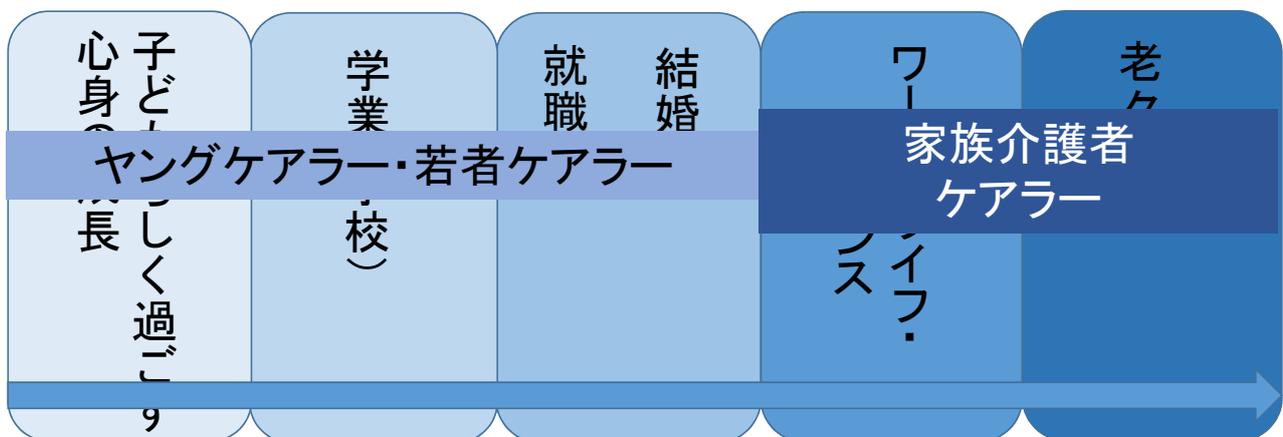
□国もヤングケアラー支援の方針を打ち出している

□今後は全ての領域において、「ヤングケアラー支援担当者」としての意識を持ち、連携することが求められる

ヤングケアラー支援に向けて

- ヤングケアラーの(継続的な)実態把握
- ヤングケアラー支援の整備
- ヤングケアラーへの気づき
- ヤングケアラーという視点、認識の浸透
- 発見・支援ネットワークの構築
- ヤングケアラー支援をどこが担当するのか？
- 県と市の役割分担は？

家族ケア



- ケア役割は年齢によって分けることができない。
- ヤングケアラーの背景には大人のケアラーの問題もある。
⇒ 対象とする「ケアラー」とは？